

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年4月21日から、2027年4月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券 ロ) マネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。以下同じ。) に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) とマネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。) が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に同じ、下記の金額 (1万口当り。) を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e. 12,500円以上の場合 ……………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわない場合があります。

YMアセット・ 優良米国株ファンド

運用報告書 (全体版)

第17期 (決算日 2021年7月20日)
第18期 (決算日 2021年10月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新 (プレミアム合衆国)」は、このたび、第18期の決算を行ないました。

ここに、第17期、第18期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124
(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.yamaguchi.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		投資信託 資産 証比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率		
	円	円	%		%	%	百万円
第9期末 (2019年7月22日)	10,239	10	△ 1.5	13,158	△ 1.6	96.2	2,782
第10期末 (2019年10月21日)	10,304	10	0.7	13,204	0.3	97.3	2,913
第11期末 (2020年1月20日)	10,925	350	9.4	14,527	10.0	98.6	2,996
第12期末 (2020年4月20日)	8,780	10	△19.5	11,418	△21.4	99.0	2,542
第13期末 (2020年7月20日)	9,836	10	12.1	12,890	12.9	99.0	2,923
第14期末 (2020年10月20日)	10,487	300	9.7	13,550	5.1	99.0	3,662
第15期末 (2021年1月20日)	10,959	350	7.8	14,366	6.0	98.1	4,394
第16期末 (2021年4月20日)	12,167	500	15.6	16,701	16.3	99.0	5,532
第17期末 (2021年7月20日)	12,064	500	3.3	17,129	2.6	99.0	6,520
第18期末 (2021年10月20日)	12,347	500	6.5	18,096	5.6	99.0	7,339

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ダウ工業株30種) とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

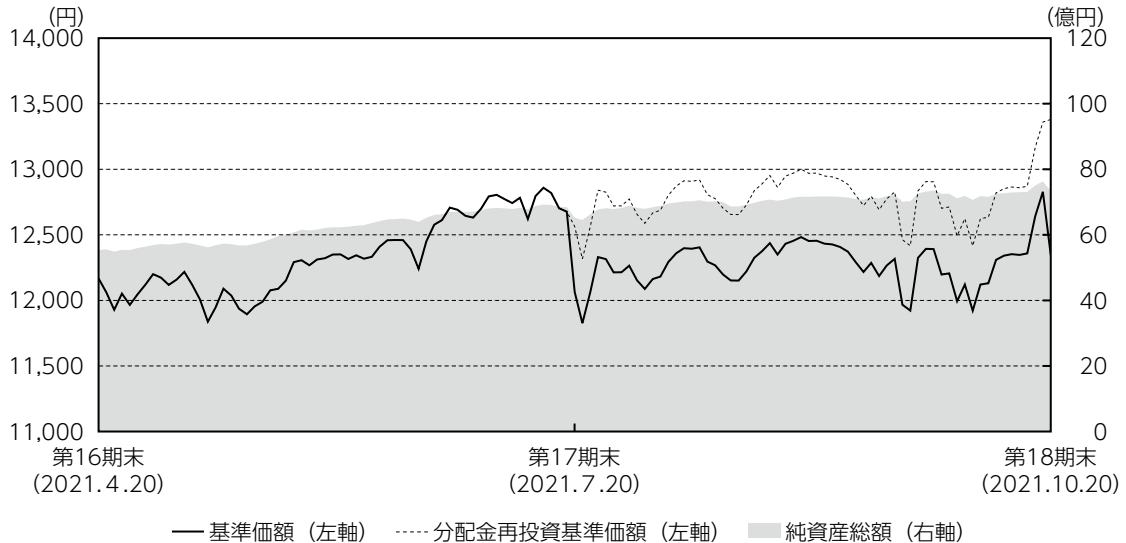
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業 株価平均 (円換算ベース)		投 資 組 資 益 入 信 証 比	託 券 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第17期	(期 首) 2021年 4月20日	円 12,167	% -	16,701	% -		% 99.0
	4 月末	12,200	0.3	16,637	△0.4		99.0
	5 月末	12,292	1.0	17,033	2.0		99.0
	6 月末	12,645	3.9	17,028	2.0		99.0
	(期 末) 2021年 7月20日	12,564	3.3	17,129	2.6		99.0
第18期	(期 首) 2021年 7月20日	12,064	-	17,129	-		99.0
	7 月末	12,215	1.3	17,226	0.6		99.0
	8 月末	12,432	3.1	17,486	2.1		99.0
	9 月末	12,197	1.1	17,211	0.5		99.0
	(期 末) 2021年10月20日	12,847	6.5	18,096	5.6		99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第17期首：12,167円

第18期末：12,347円 (既払分配金1,000円)

騰落率：10.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は1.5%の上昇、分配金再投資基準価額は10.0%の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

◎米国株式市況

- ・当作成期の米国株式市況は上昇しました。
- ・新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や、グローバルな供給網のひっ迫によるインフレ率上昇懸念、中国の不動産関連企業の債務問題などが嫌気される局面もありましたが、ワクチン接種の進展と、これに伴う経済正常化への期待の高まりや、良好な企業業績などを背景に、株価は上昇して推移しました。

◎為替市況

- ・当作成期首に比べ、米ドルは対円で上昇しました。米連邦準備制度理事会（F R B）による量的金融緩和の縮小（テーパリング）への思惑などから米ドル高が進みました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

- ・当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（F O F s）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（F O F s）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（F O F s）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

○次世代米国代表株ファンド（F O F s 用）（適格機関投資家限定）

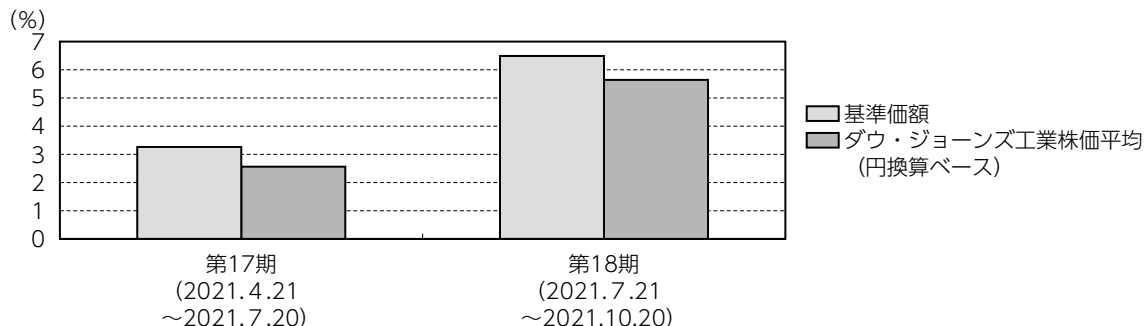
- ・基準価額は当作成期首に比べ10.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
 - ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
 - ・主として米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
 - ・2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇してきた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えました。ワクチン開発の進展と接種開始が、景気回復期待を支援する一方で、インフレ率の上昇度合いとそれに伴う長期金利の動きが注目点となりました。各国の政府と中央銀行は財政出動や金融緩和の修正を急がない方針を強調したため、上値は重いものの、引き続き財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と考えました。このような環境下、コロナ後も成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
 - ・適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、3銘柄が入れ替わりました。また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
 - ・コロナ後の業績成長がやや劣ると判断した「SYSCO CORP」などの売却を行う一方で、高いブランド力から息の長い成長が期待できる「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」などを組み入れました。
- ### ○マネープールファンド（F O F s 用）（適格機関投資家限定）
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第17期は500円、第18期は500円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期
	2021年4月21日 ~2021年7月20日	2021年7月21日 ~2021年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	500	500
対基準価額比率（%）	3.98	3.89
当期の収益（円）	376	500
当期の収益以外（円）	123	—
翌期繰越分配対象額（円）	2,080	2,347

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期
(a) 経費控除後の配当等収益	69.39円	63.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	307.55	688.53
(c) 収益調整金	941.16	1138.10
(d) 分配準備積立金	1262.60	957.04
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,580.70	2,847.16
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,080.70	2,347.16

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

- ・次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

- ・米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は未だ払拭されない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。米国において医療費の抑制を含むシステムの改革が特にバイデン政権になってから注目が高まっており、遠隔医療や医療管理ソフトウェアなど、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造などは今後も市況上昇の要因になると考えられます。
- ・景気の回復や一部の素材の価格上昇によりインフレ懸念が台頭、これが長期金利の上昇につながり、市況の上値を抑える要因となっています。しかしながら足元のインフレは生産設備の一時的な生産停滞などに起因するものであり、早晚落ち着くものと考えられます。また景気回復に伴い企業業績は順調に伸長しており、市況への追い風となると思われます。加えて、各国の政府による財政出動による景気刺激策の効果が期待されることや、金融政策においても主要な中央銀行が金融緩和の修正については急がない方針を強調していることから、市況の下値は限定的、緩やかな上昇相場が続くものと予想しています。

○マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第18期		項 目 の 概 要
	(2021年4月21日～2021年10月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	59円	0.482%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は12,309円です。
（投信会社）	(24)	(0.193)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(34)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	60	0.488	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

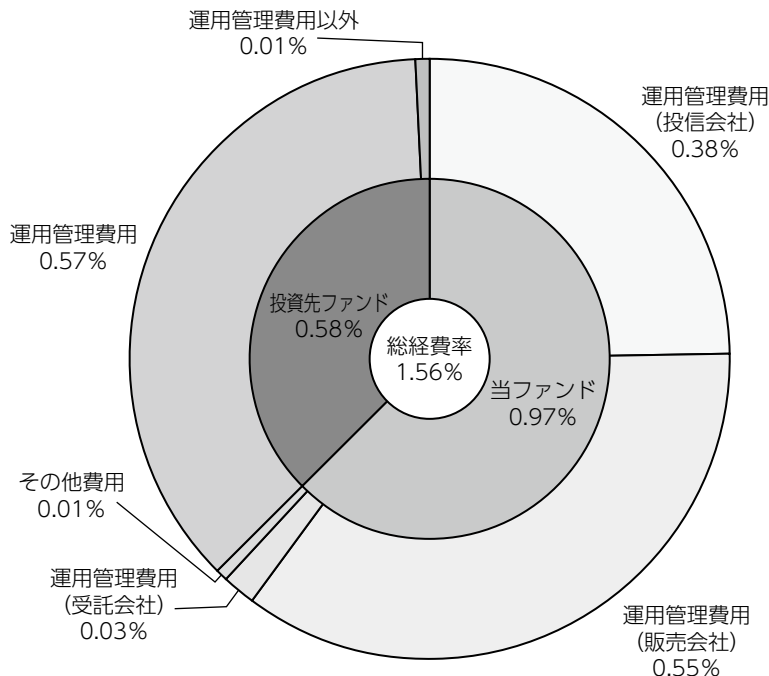
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率 (①+②+③)	1.56%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年4月21日から2021年10月20日まで)

決算期		第17期～第18期			
		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
国内	マネーパール ファンド(FOFs 用)(適格機関投 資家限定)	千口	千円	千口	千円
	-	-	-	-	
	次世代米国代表 株ファンド (FOFs用)(適格 機関投資家限定)	1,147,363.417	1,962,000	447,180.705	787,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第17期～第18期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第18期末		
	□数	評価額	比率
マネーパールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	千口 99.691	千円 99	% 0.0
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	3,983,052.672	7,265,088	99.0
合計	金 額 銘柄数 < 比率 > 2銘柄	7,265,187	< 99.0 % >

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年10月20日現在

項目	第18期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 7,265,187	% 94.5
コール・ローン等、その他	421,039	5.5
投資信託財産総額	7,686,227	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月20日)、(2021年10月20日)現在

項目	第17期末	第18期末
(A) 資産	6,844,222,895円	7,686,227,485円
コール・ローン等	126,827,293	127,039,562
投資信託受益証券(評価額)	6,455,395,602	7,265,187,923
未収入金	262,000,000	294,000,000
(B) 負債	324,083,155	347,180,713
未払収益分配金	270,238,183	297,195,820
未払解約金	38,875,198	32,717,287
未払信託報酬	14,800,670	17,072,540
その他未払費用	169,104	195,066
(C) 純資産総額(A-B)	6,520,139,740	7,339,046,772
元本	5,404,763,663	5,943,916,403
次期繰越増益金	1,115,376,077	1,395,130,369
(D) 受益権総口数	5,404,763,663口	5,943,916,403口
1万口当り基準価額(C/D)	12,064円	12,347円

(注) 元本状況

期首元本額	4,547,569,964円	5,404,763,663円
追加設定元本額	1,034,720,236円	994,606,619円
一部解約元本額	177,526,537円	455,453,879円

■損益の状況

第17期 自2021年4月21日 至2021年7月20日
第18期 自2021年7月21日 至2021年10月20日

項目	第17期	第18期
(A) 配当等収益	40,255,240円	39,195,782円
受取配当金	39,777,420	39,210,022
受取利息	1	191
その他収益金	488,902	-
支払利息	△ 11,083	△ 14,431
(B) 有価証券売買損益	178,437,991	425,064,173
売買益	180,755,696	432,420,752
売買損	△ 2,317,705	△ 7,356,579
(C) 信託報酬等	△ 14,969,774	△ 17,267,606
(D) 当期増益金(A+B+C)	203,723,457	446,992,349
(E) 前期繰越増益金	682,407,921	568,854,976
(F) 追加信託差増益金	499,482,882	676,478,864
(配当等相当額)	(508,676,697)	(669,617,255)
(売買損益相当額)	(△ 9,193,815)	(6,861,609)
(G) 合計(D+E+F)	1,385,614,260	1,692,326,189
(H) 収益分配金	△ 270,238,183	△ 297,195,820
次期繰越増益金(G+H)	1,115,376,077	1,395,130,369
追加信託差増益金	499,482,882	676,478,864
(配当等相当額)	(508,676,697)	(669,617,255)
(売買損益相当額)	(△ 9,193,815)	(6,861,609)
分配準備積立金	615,893,195	718,651,505

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差増益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 17 期	第 18 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,499,305円	37,738,396円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	166,224,152円	409,253,953円
(c) 収益調整金	508,676,697円	676,478,864円
(d) 分配準備積立金	682,407,921円	568,854,976円
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,394,808,075円	1,692,326,189円
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,580.70円	2,847.16円
(g) 分配金	270,238,183円	297,195,820円
(h) 1万口当たり分配金	500円	500円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 17 期	第 18 期
一万口当たり分配金（税引前）	500円	500円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2022年4月20日から2027年4月20日に変更しました。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2028年3月7日[当初、2023年3月7日]まで (2017年4月20日設定)	
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビード ファンド	次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告に係わる情報

次世代米国代表株ファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）



第17期（決算日：2021年6月7日）

第18期（決算日：2021年9月7日）



信託期間を従来の2023年3月7日から2028年3月7日へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る9月7日に第18期の決算を行いましたので、法令に基づいて第17期～第18期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	（分配落）	税込 分配 金	期 騰落 率	（円換算ベース）	期 騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2019年6月7日)	11,892	20	△ 1.7	17,720	△ 2.6	96.3	—	2,782
10期(2019年9月9日)	12,312	40	3.9	18,195	2.7	94.9	—	2,700
11期(2019年12月9日)	12,932	120	6.0	19,315	6.2	96.4	—	2,911
12期(2020年3月9日)	11,326	10	△12.3	16,751	△13.3	97.0	—	2,477
13期(2020年6月8日)	12,612	40	11.7	18,843	12.5	98.5	—	2,918
14期(2020年9月7日)	13,135	110	5.0	18,997	0.8	98.6	—	3,220
15期(2020年12月7日)	14,299	110	9.7	19,967	5.1	97.9	—	4,162
16期(2021年3月8日)	15,415	140	8.8	21,669	8.5	97.0	—	4,961
17期(2021年6月7日)	16,855	110	10.1	24,177	11.6	97.1	—	6,129
18期(2021年9月7日)	17,615	100	5.1	24,651	2.0	94.4	—	7,059

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY（ニューヨーク）ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		（ 参 考 指 数 ） ダウ・ジョーンズ工業株価平均 （円換算ベース）		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第17期	(期 首) 2021年3月8日	円 15,415	% —	21,669	% —	% 97.0	% —
	3月末	16,290	5.7	23,241	7.3	95.3	—
	4月末	16,702	8.3	23,555	8.7	94.8	—
	5月末	16,898	9.6	24,061	11.0	95.7	—
	(期 末) 2021年6月7日	16,965	10.1	24,177	11.6	97.1	—
第18期	(期 首) 2021年6月7日	16,855	—	24,177	—	97.1	—
	6月末	17,252	2.4	24,074	△ 0.4	95.7	—
	7月末	17,463	3.6	24,388	0.9	96.3	—
	8月末	17,750	5.3	24,699	2.2	96.0	—
	(期 末) 2021年9月7日	17,715	5.1	24,651	2.0	94.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

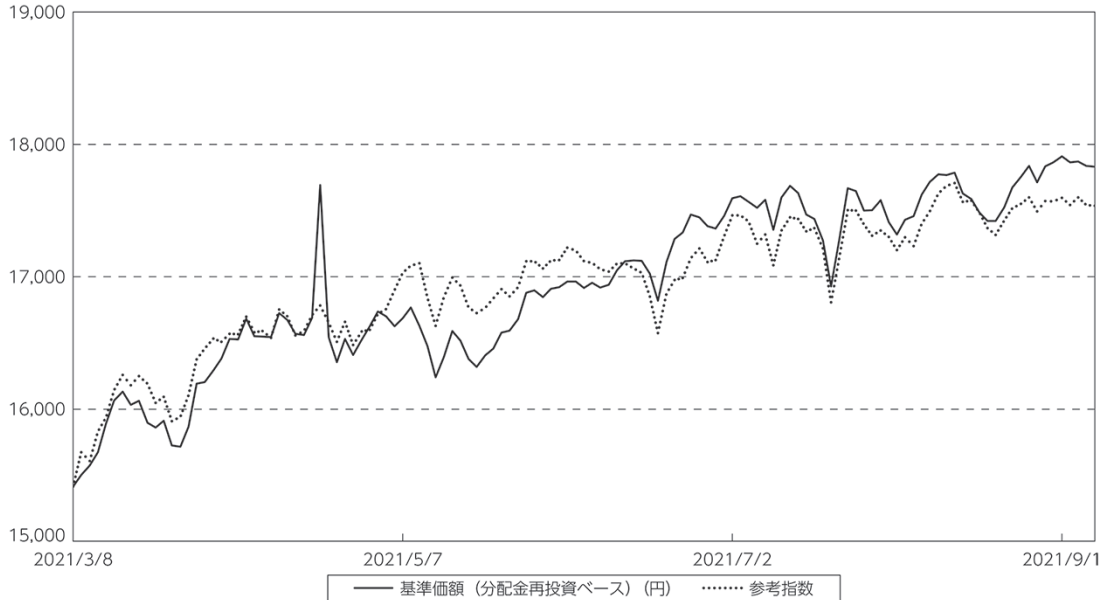
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ15.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

・ 米国株式市況全体の上昇ならびに「UNITEDHEALTH GROUP INC」や「MICROSOFT CORP」等の組入銘柄の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 米国株式市況

・ 米国株式市況は上昇しました。
 ・ 新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や、グローバルな供給網のひっ迫によるインフレ率上昇懸念などが嫌気される局面もありましたが、ワクチン接種の進展と、これに伴う経済正常化への期待の高まりや、良好な企業業績などを背景に、株価は上昇して推移しました。

◎ 為替市況

・ 当作成期首に比べ、米ドルは対円で上昇しました。米連邦準備制度理事会（FRB）による量的金融緩和の縮小（テーパリング）への思惑等から米ドル高が進みました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

・ 次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

<次世代米国代表株マザーファンド>

・ 米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。

- ・ 主として米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・ 2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇してきた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えました。ワクチン開発の進展と接種開始が、景気回復期待を支援する一方で、インフレ率の上昇度合いとそれに伴う長期金利の動きが注目点となりました。また、各国の政府と中央銀行は財政出動や金融緩和の修正を急がない方針を強調したため、上値は重いものの、引き続き財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と考えました。このような環境下、コロナ後も成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
- ・ 適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、5銘柄が入れ替わりました。
- ・ また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・ 航空関連事業の業績回復が遅れると判断した「HONEYWELL INTERNATIONAL INC」や、コロナ後の業績成長がやや劣ると判断した「SYSCO CORP」などの売却を行う一方で、企業の設備投資の改善と共に成長が期待される「ROCKWELL AUTOMATION INC」や高いブランド力から息の長い成長が期待できる「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」などを組み入れました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第17期	第18期
	2021年3月9日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年9月7日
当期分配金	110	100
（対基準価額比率）	0.648%	0.564%
当期の収益	110	100
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	6,855	7,614

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

<次世代米国代表株マザーファンド>

- ・米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は未だ払

拭されない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。米国において医療費の抑制を含むシステムの改革が特にバイデン政権になってから注目が高まっており、遠隔医療や医療管理ソフトウェアなど、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。

- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると考えられます。
- ・2020年3月下旬以降、株式市況は大きく上昇しましたが、期待先行で上昇してきた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。デルタ株による新型コロナウイルスの感染再拡大、景気回復によるインフレ率や長期金利の上昇などが懸念されるためです。しかしながら、ワクチン接種の進展が、景気回復期待を支援するものと思われることや、各国の政府による財政出動に加え、主要な中央銀行が金融緩和の修正については急がない方針を強調していることから、下値もまた限定的と考えられます。

○ 1万口当たりの費用明細

（2021年3月9日～2021年9月7日）

項 目	第17期～第18期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 49 (47) (0) (2)	% 0.290 (0.276) (0.001) (0.013)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	9 (9)	0.053 (0.053)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.006 (0.004) (0.002) (0.000)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	59	0.349	
作成期中の平均基準価額は、16,900円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2021年3月9日～2021年9月7日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第17期～第18期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド	544,359	1,682,820	152,164	477,410

○株式売買比率

（2021年3月9日～2021年9月7日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第17期～第18期	
	次世代米国代表株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	41,090,156千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	48,443,322千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84	

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2021年3月9日～2021年9月7日）

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

区 分	第17期～第18期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 11,279	百万円 2,168	% 19.2	百万円 9,288	百万円 3,294	% 35.5

平均保有割合 12.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年9月7日現在)

親投資信託残高

銘柄	第16期末	第18期末	
	口数	口数	評価額
次世代米国代表株マザーファンド	1,754,989	2,147,185	7,009,271

○投資信託財産の構成

(2021年9月7日現在)

項目	第18期末	
	評価額	比率
次世代米国代表株マザーファンド	7,009,271	98.6%
コール・ローン等、その他	100,532	1.4%
投資信託財産総額	7,109,803	100.0%

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（53,400,866千円）の投資信託財産総額（54,930,871千円）に対する比率は97.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.78円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第17期末	第18期末
	2021年6月7日現在	2021年9月7日現在
(A) 資産	6,177,978,615	7,109,803,764
コール・ローン等	93,061,802	100,531,866
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	6,084,916,813	7,009,271,898
(B) 負債	48,065,858	49,897,348
未払収益分配金	40,005,120	40,080,074
未払信託報酬	8,010,347	9,755,956
未払利息	68	25
その他未払費用	50,323	61,293
(C) 純資産総額(A-B)	6,129,912,757	7,059,906,416
元本	3,636,829,114	4,008,007,436
次期繰越損益金	2,493,083,643	3,051,898,980
(D) 受益権総口数	3,636,829,114口	4,008,007,436口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,855円	17,615円

○損益の状況

項 目	第17期	第18期
	2021年3月9日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年9月7日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,241	△ 4,020
受取利息	—	91
支払利息	△ 1,241	△ 4,111
(B) 有価証券売買損益	511,728,597	327,903,772
売買益	533,513,073	337,909,203
売買損	△ 21,784,476	△ 10,005,431
(C) 信託報酬等	△ 8,060,670	△ 9,817,249
(D) 当期損益金(A+B+C)	503,666,686	318,082,503
(E) 前期繰越損益金	919,206,731	1,303,716,757
(F) 追加信託差損益金	1,110,215,346	1,470,179,794
(配当等相当額)	(924,319,924)	(1,239,766,051)
(売買損益相当額)	(185,895,422)	(230,413,743)
(G) 計(D+E+F)	2,533,088,763	3,091,979,054
(H) 収益分配金	△ 40,005,120	△ 40,080,074
次期繰越損益金(G+H)	2,493,083,643	3,051,898,980
追加信託差損益金	1,110,215,346	1,470,179,794
(配当等相当額)	(925,067,956)	(1,240,370,961)
(売買損益相当額)	(185,147,390)	(229,808,833)
分配準備積立金	1,382,868,297	1,581,719,186

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 3,218,483,216円
 作成期中追加設定元本額 1,208,561,060円
 作成期中一部解約元本額 419,036,840円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.7615円です。

②分配金の計算過程

項 目	2021年3月9日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年9月7日
費用控除後の配当等収益額	14,768,637円	14,494,393円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	488,898,049円	303,588,110円
収益調整金額	1,110,215,346円	1,470,179,794円
分配準備積立金額	919,206,731円	1,303,716,757円
当ファンドの分配対象収益額	2,533,088,763円	3,091,979,054円
1万口当たり収益分配対象額	6,965円	7,714円
1万口当たり分配金額	110円	100円
収益分配金金額	40,005,120円	40,080,074円

○分配金のお知らせ

	第17期	第18期
1 万口当たり分配金（税込み）	110円	100円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

[お 知 ら せ]

信託期間を従来の2023年3月7日から2028年3月7日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2021年6月30日)

次世代米国代表株マザーファンド

《第17期》決算日2021年9月7日

[計算期間：2021年3月9日～2021年9月7日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、9月7日に第17期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	期中率	期騰落	期中率			
	円	%		%	%	%	百万円
13期(2019年9月9日)	21,380	2.5	18,195	△ 0.0	95.5	—	45,961
14期(2020年3月9日)	19,903	△ 6.9	16,751	△ 7.9	97.7	—	36,538
15期(2020年9月7日)	23,438	17.8	18,997	13.4	99.1	—	37,679
16期(2021年3月8日)	28,105	19.9	21,669	14.1	97.6	—	41,554
17期(2021年9月7日)	32,644	16.2	24,651	13.8	95.1	—	50,220

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2021年3月8日	円 28,105	% —	21,669	% —	% 97.6	% —
3月末	29,725	5.8	23,241	7.3	95.9	—
4月末	30,495	8.5	23,555	8.7	95.7	—
5月末	30,877	9.9	24,061	11.0	96.6	—
6月末	31,751	13.0	24,074	11.1	96.5	—
7月末	32,158	14.4	24,388	12.5	96.9	—
8月末	32,706	16.4	24,699	14.0	96.7	—
(期 末) 2021年9月7日	32,644	16.2	24,651	13.8	95.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

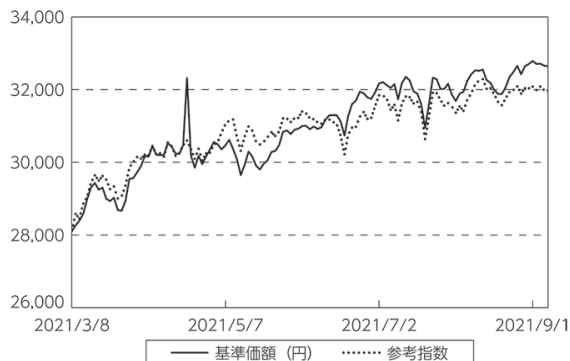
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・米国株式市況全体の上昇ならびに「UNITEDHEALTH GROUP INC」や「MICROSOFT CORP」等の組入銘柄の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

- ・米国株式市況は上昇しました。
- ・新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や、グローバルな供給網のひっ迫によるインフレ率上昇懸念などが嫌気される局面もありましたが、ワクチン接種の進展と、これに伴う経済正常化への期待の高まりや、良好な企業業績などを背景に、株価は上昇して推移しました。

◎為替市況

- ・期首に比べ、米ドルは対円で上昇しました。米連邦準備制度理事会（FRB）による量的金融緩和の縮小（テーパリング）への思惑等から米ドル高が進みました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・主として米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇してきた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えました。ワクチン開発の進展と接種開始が、景気回復期待を支援する一方で、インフレ率の上昇度合いとそれに伴う長期金利の動きが注目点となりました。また、各国の政府と中央銀行は財政出動や金融緩和の修正を急がない方針を強調したため、上値は重いものの、引き続き財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と考えました。このような環境下、コロナ後も成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
- ・適宜銘柄の見直しを行った結果、期首と期末では、5銘柄が入れ替わりました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・航空関連事業の業績回復が遅れると判断した「HONEYWELL INTERNATIONAL INC」や、コロナ後の業績成長がやや劣ると判断した「SYSCO CORP」などの売却を行う一方で、企業の設備投資の改善と共に成長が期待される「ROCKWELL AUTOMATION INC」や高いブランド力から息の長

い成長が期待できる「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」などを組み入れました。

○今後の運用方針

- ・米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は未だ払拭されない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療システムの改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。米国において医療費の抑制を含むシステムの改革が特にバイデン政権になってから注目が高まっており、遠隔医療や医療管理ソフトウェアなど、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると考えられます。
- ・2020年3月下旬以降、株式市況は大きく上昇しましたが、期待先行で上昇してきた面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。デルタ株による新型コロナウイルスの感染再拡大、景気回復によるインフレ率や長期金利の上昇などが懸念されるためです。しかしながら、ワクチン接種の進展が、景気回復期待を支援するものと思われることや、各国の政府による財政出動に加え、主要な中央銀行が金融緩和の修正については急がない方針を強調していることから、下値もまた限定的と思われるます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月9日～2021年9月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 16 (16)	% 0.052 (0.052)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	17	0.056	
期中の平均基準価額は、30,993円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2021年3月9日～2021年9月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 14,140 (531)	千アメリカドル 188,355 (△ 289)	百株 14,041	千アメリカドル 184,832

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年3月9日～2021年9月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	41,136,346千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	48,443,322千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月9日～2021年9月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 11,279	百万円 2,168	% 19.2	百万円 9,288	百万円 3,294	% 35.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年9月7日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)			業種等
		株数	当期末		
			株数	評価額	
株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AMERICAN EXPRESS CO	1,449	1,809	28,825	3,164,445	各種金融
BOEING CO/THE	764	792	17,285	1,897,590	資本財
CATERPILLAR INC	1,266	1,147	24,129	2,648,929	資本財
COCA-COLA CO/THE	1,256	1,292	7,329	804,634	食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	759	848	8,269	907,814	エネルギー
WALT DISNEY CO/THE	736	794	14,371	1,577,692	メディア・娯楽
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	—	214	7,315	803,058	家庭用品・パーソナル用品
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	745	—	—	—	資本財
HOME DEPOT INC	728	—	—	—	小売
JOHNSON & JOHNSON	842	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
S&P GLOBAL INC	240	193	8,725	957,846	各種金融
BANK OF AMERICA CORP	5,867	5,496	22,561	2,476,755	銀行
ROCKWELL AUTOMATION INC	—	695	22,518	2,472,026	資本財
SYSCO CORP	434	—	—	—	食品・生活必需品小売り
UNITEDHEALTH GROUP INC	895	909	38,450	4,221,113	ヘルスケア機器・サービス
VULCAN MATERIALS CO	316	287	5,174	568,100	素材
WALMART INC	1,056	1,002	14,954	1,641,743	食品・生活必需品小売り
TJX COMPANIES INC	—	2,649	18,826	2,066,766	小売
CADENCE DESIGN SYS INC	710	609	10,091	1,107,871	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP	1,456	1,507	8,063	885,261	半導体・半導体製造装置
COSTCO WHOLESALE CORP	156	111	5,150	565,370	食品・生活必需品小売り
APPLIED MATERIALS INC	498	372	5,052	554,704	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	1,334	1,002	30,195	3,314,873	ソフトウェア・サービス
INTUITIVE SURGICAL INC	—	143	15,326	1,682,522	ヘルスケア機器・サービス
AMAZON.COM INC	53	85	29,580	3,247,381	小売
COSTAR GROUP INC	82	590	5,183	569,070	商業・専門サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	785	781	17,581	1,930,052	ソフトウェア・サービス
SERVICENOW INC	139	251	17,033	1,869,950	ソフトウェア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	345	387	12,317	1,352,243	ヘルスケア機器・サービス
BROADCOM INC	—	213	10,600	1,163,732	半導体・半導体製造装置
STELLANTIS NV	4,533	4,330	8,781	964,004	自動車・自動車部品
TELADOC HEALTH INC	457	301	4,351	477,680	ヘルスケア機器・サービス
AVALARA INC	133	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	1,610	1,458	12,890	1,415,083	各種金融
PINTEREST INC-CLASS A	736	742	4,201	461,274	メディア・娯楽
合計	株数	金額	株数	金額	
	銘柄数	比率			
	30	30	—	<95.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年9月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	47,769,594	87.0
コール・ローン等、その他	7,161,277	13.0
投資信託財産総額	54,930,871	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (53,400,866千円) の投資信託財産総額 (54,930,871千円) に対する比率は97.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.78円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	58,224,241,803
コール・ローン等	1,828,660,047
株式(評価額)	47,769,594,653
未収入金	8,577,161,569
未収配当金	48,825,534
(B) 負債	8,003,370,390
未払金	3,293,370,000
未払解約金	4,710,000,000
未払利息	390
(C) 純資産総額(A-B)	50,220,871,413
元本	15,384,318,748
次期繰越損益金	34,836,552,665
(D) 受益権総口数	15,384,318,748口
1万口当たり基準価額(C/D)	32,644円

<注記事項>

- ①期首元本額 14,785,431,126円
 期中追加設定元本額 4,299,792,839円
 期中一部解約元本額 3,700,905,217円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,2644円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド	12,606,059,574円
次世代米国代表株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	2,147,185,363円
次世代米国代表株ファンド (為替ヘッジあり)	562,711,715円
外国株式アクティブファンドセレクション (ラップ専用)	68,362,096円
合計	15,384,318,748円

○損益の状況 (2021年3月9日~2021年9月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	239,737,528
受取配当金	239,849,062
受取利息	2,290
支払利息	△ 113,824
(B) 有価証券売買損益	6,941,905,014
売買益	7,901,617,739
売買損	△ 959,712,725
(C) 保管費用等	△ 1,999,869
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,179,642,673
(E) 前期繰越損益金	26,769,307,614
(F) 追加信託差損益金	8,891,787,161
(G) 解約差損益金	△ 8,004,184,783
(H) 計(D+E+F+G)	34,836,552,665
次期繰越損益金(H)	34,836,552,665

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2010年11月24日設定）	
運用方針	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の公社債等に実質的な投資を行い、利子等収益の確保を図ります。	
主要運用対象	ベビーフンド	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の公社債等に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告に係わる情報

マネープールファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）



第21期（決算日：2021年5月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る5月20日に第21期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率					
	円		円	%	%	%	%	百万円	
17期(2019年5月20日)	10,022		0	△0.0	—	—	—	10	
18期(2019年11月20日)	10,020		0	△0.0	—	—	—	210	
19期(2020年5月20日)	10,021		0	0.0	—	—	—	10	
20期(2020年11月20日)	10,019		0	△0.0	—	—	—	10	
21期(2021年5月20日)	10,017		0	△0.0	—	—	—	10	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2020年11月20日	円		%		%		%
11月末	10,019		—	—	—	—	—
12月末	10,019		0.0	—	—	—	—
2021年1月末	10,018		△0.0	—	—	—	—
2月末	10,018		△0.0	—	—	—	—
3月末	10,018		△0.0	—	—	—	—
4月末	10,018		△0.0	—	—	—	—
(期末) 2021年5月20日	10,017		△0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

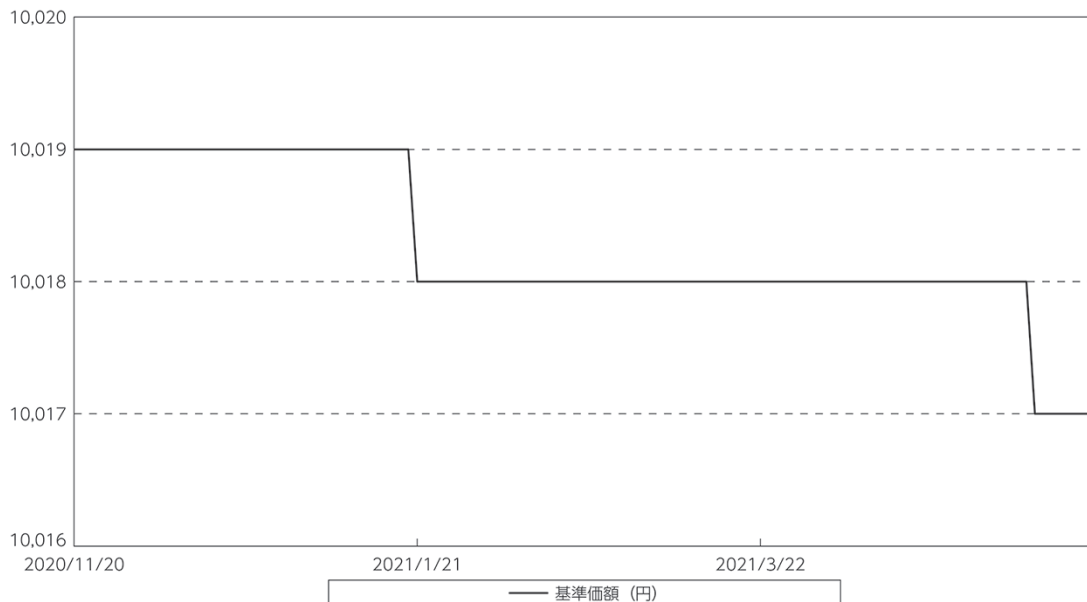
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬等コストなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.015%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて
<マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

・期を通じて、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第21期
	2020年11月21日～ 2021年5月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	48

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2020年11月21日～2021年5月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.005)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、10,018円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2020年11月21日～2021年5月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	1	1

○利害関係人との取引状況等

（2020年11月21日～2021年5月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年5月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 9,882	千口 9,880	千円 10,060

○投資信託財産の構成

(2021年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネー・マーケット・マザーファンド	千円 10,060	% 99.7
コール・ローン等、その他	27	0.3
投資信託財産総額	10,087	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年5月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,087,107
コール・ローン等	26,816
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	10,060,282
未収入金	9
(B) 負債	1,629
未払信託報酬	1,629
(C) 純資産総額(A-B)	10,085,478
元本	10,067,946
次期繰越損益金	17,532
(D) 受益権総口数	10,067,946口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,017円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,067,946円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0017円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年11月21日～ 2021年5月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	48,750円
分配準備積立金額	2円
当ファンドの分配対象収益額	48,752円
1万口当たり収益分配対象額	48円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2020年11月21日～2021年5月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 29
売買益	1
売買損	△ 30
(B) 信託報酬等	△ 1,629
(C) 当期繰越損益金(A+B)	△ 1,658
(D) 前期繰越損益金	△ 1,996
(E) 追加信託差損益金	21,186
(配当等相当額)	(48,750)
(売買損益相当額)	(△27,564)
(F) 計(C+D+E)	17,532
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	17,532
追加信託差損益金	21,186
(配当等相当額)	(48,750)
(売買損益相当額)	(△27,564)
分配準備積立金	2
繰越損益金	△ 3,656

- (注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第33期》決算日2021年5月20日

[計算期間：2020年11月21日～2021年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第33期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第33期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	百万円 1,464
30期(2019年11月20日)	10,183		0.0		—		—	1,636
31期(2020年5月20日)	10,182		△0.0		—		—	1,218
32期(2020年11月20日)	10,182		0.0		—		—	1,133
33期(2021年5月20日)	10,182		0.0		—		—	1,245

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2020年11月20日	10,182		—		—		—
11月末	10,182		0.0		—		—
12月末	10,182		0.0		—		—
2021年1月末	10,182		0.0		—		—
2月末	10,182		0.0		—		—
3月末	10,182		0.0		—		—
4月末	10,182		0.0		—		—
(期末) 2021年5月20日	10,182		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

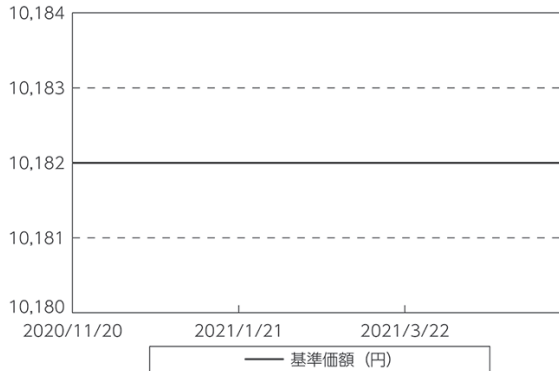
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.015%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

○今後の運用方針

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年11月21日～2021年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年11月21日～2021年5月20日)

その他有価証券	
---------	--

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	116,399,934	116,399,936

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月21日～2021年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年5月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 999,999	% 80.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2021年5月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 999,999	% 80.3
コール・ローン等、その他	245,016	19.7
投資信託財産総額	1,245,015	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月20日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	1,245,015,847
コール・ローン等	245,016,021
その他有価証券(評価額)	999,999,826
(B) 負債	140
未払解約金	74
未払利息	66
(C) 純資産総額(A-B)	1,245,015,707
元本	1,222,764,744
次期繰越損益金	22,250,963
(D) 受益権総口数	1,222,764,744口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,182円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,113,718,300円
 期中追加設定元本額 170,098,035円
 期中一部解約元本額 61,051,919円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0182円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	455,367,888円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	189,230,420円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	71,620,233円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	62,696,199円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	52,703,819円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	20,251,425円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	16,341,949円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	11,916,657円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	10,781,250円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	10,715,809円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネーボールファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	9,880,458円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,425円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	9,187,206円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	6,643,326円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	6,336,371円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム(毎月決算型)	5,899,118円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
MUAMトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	5,597,238円

○損益の状況 (2020年11月21日~2021年5月20日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 10,499
受取利息	2,927
支払利息	△ 13,426
(B) 当期損益金(A)	△ 10,499
(C) 前期繰越損益金	20,276,683
(D) 追加信託差損益金	3,095,683
(E) 解約差損益金	△ 1,110,904
(F) 計(B+C+D+E)	22,250,963
次期繰越損益金(F)	22,250,963

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	5,548,198円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,411,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	5,114,733円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,489,124円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	4,433,586円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	4,349,768円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,857,128円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,683,862円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,517,041円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	3,308,438円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	3,307,993円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,156,977円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,542,269円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2,474,981円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,308,140円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,259,287円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,156,093円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,016,707円
パリュウ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2030	1,905,324円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,279円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	1,171,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,654円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	845,131円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	749,309円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	642,729円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	640,555円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	521,466円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	511,609円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	490,224円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	409,936円

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	379,197円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	368,276円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	354,513円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	345,928円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	266,153円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	215,434円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	175,974円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	138,420円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	138,394円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	132,542円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	123,415円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	82,770円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	20,609円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	10,814円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,795円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ペイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
合計	1,222,764,744円